

大野町総合町民センター開館25周年記念
&
大野神戸IC開通記念事業

Nagoya Philharmonic Orchestra
New Year Concert in Ohno

名古屋フィルハーモニー交響楽団

ニューイヤーコンサート in 大野

プログラム

モーツァルト	歌劇『フィガロの結婚』K.492 序曲
ロッシーニ	歌劇『セビリヤの理髪師』序曲
チャイコフスキー	歌劇『エフゲニー・オネーギン』より「ポロネーズ」
ヴェルディ	歌劇『椿姫』第1幕前奏曲
ベートーヴェン	序曲『コリオラン』作品 62
ドヴォルザーク	交響曲第 9 番号短調 作品 95『新世界より』



指揮
太田 弦

大野町総合町民センターは開館から25周年となり、時を同じくして東海環状自動車道の太田神戸ICも開通しました。

大野町のニューイヤーを祝う華やかなステージをお届けします。

2020 年

1月 25 日(土)

大野町総合町民センター ふれあいホール
14時30分開演(14時開場)

入 場 料：前売2,500円 当日3,000円 (全席指定) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット販売：12月21日(土)から総合町民センターで発売(9時～17時)

お問 合 せ：大野町総合町民センター Tel 0585-32-1111

主 催：大野町・大野町教育委員会

主 管：大野町総合町民センター

後 援：大野町音楽協会

名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra



愛知県名古屋市を中心に活動し、中部・東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリード。革新的なプログラムや、充実した演奏内容で広く話題を発信。“名フィル”の愛称で親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。2016年小泉和裕が音楽監督に就任。ほかに現在の指揮者陣は、川瀬賢太郎（正指揮者）、小林研一郎（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィッシャー（名誉客演指揮者）。2017年酒井健治が第2代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。1988年ヨーロッパ2か国、2000年アジア8か国、2004年「ブラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3か国、2006年アジア7か国のツアーを行い、成功を収める。楽団結成は1966年7月10日。1973年名古屋市の出捐により財団法人に、2012年愛知県より認定を受け公益財団法人となる。「定期演奏会」、「市民会館名曲シリーズ」をはじめ、障がい者を対象とした「福祉コンサート」、市内の学校を訪問する「名古屋市内小・中学校移動音楽教室」など、バラエティに富んだ年間約120回の演奏会に出演。



太田 弦（指揮） Gen Ota (Conductor)

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。

東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。2018年3月、同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を修了。

2015年10月、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で2位ならびに聴衆賞を受賞し、一躍注目を集める。翌2016年5月、同コンクールの〈入賞デビューコンサート〉で、大阪フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団の3団体を指揮し、高い評価を得る。

ほかにこれまでに、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、京都市交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団などを指揮。

これまでに指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィ、ダグラス・ボストック、ペーター・チャバ、ジョルト・ナジ、ラスロ・ティハニの各氏のレッスンを受講する。

これからのさらなる活躍が期待される、日本指揮界の期待の新星。

総合町民センターインフォメーション

第23回洋楽・邦楽コンサート

2月9日(日) 13時30分開演

ふれあいホール 入場無料 大野町音楽協会加盟団体の皆さんが一堂に会し、歌い奏で吟じ、音楽を通じた交流発表会を開催します。

第2部では、岐阜総合学園高校太鼓部の演奏をお聴きください。



昭和の歌コンサート

3月8日(日) 13時30分開演

ふれあいホール

前売 1,000円 当日 1,300円

出演：北海道歌旅座

昭和 今よりも少し隣の人が近くに感じた時代
人は共に歌に酔い 歌に笑い 歌に涙した
今ここによみがえる懐かしい歌の数々

